

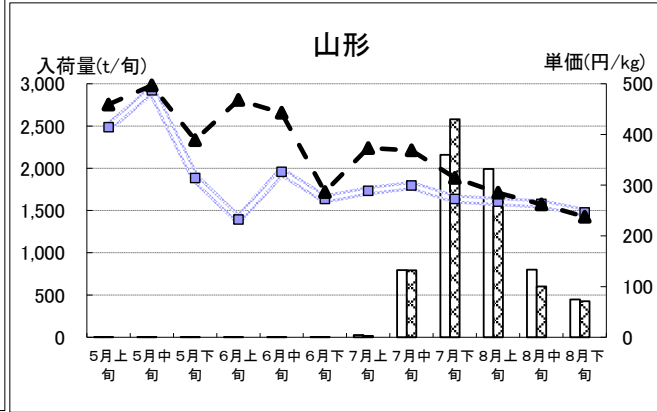
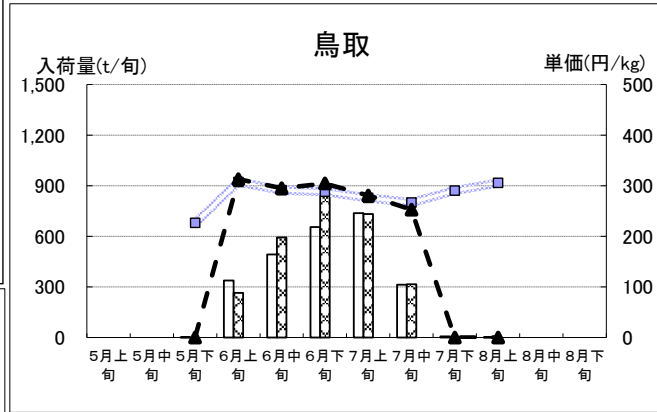
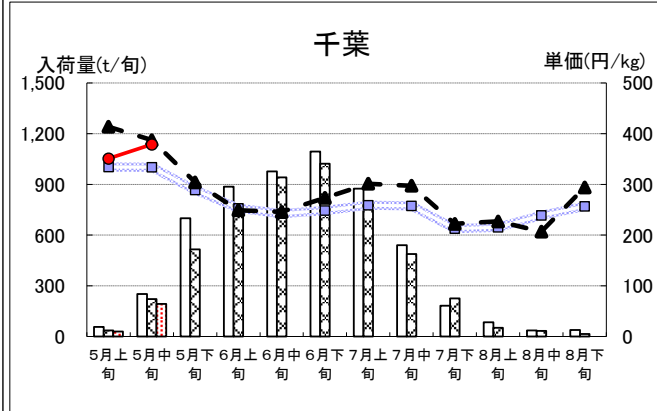
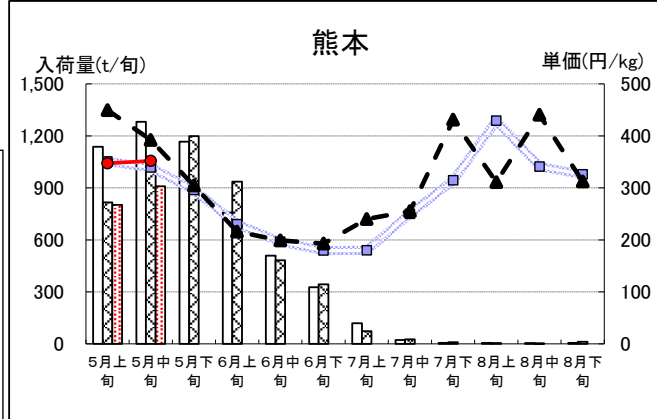
3 今月の青果物

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2025年度6月入荷量	2025年度6月シェア率
熊本	1,761 t	25.5 %
千葉	2,713 t	39.2 %
鳥取	1,708 t	24.7 %
山形	4 t	0.1 %

6月入荷予測	6,800t(前年比98.3%、平年比99.7%)		
6月価格予測	270円(前年比106.5%、平年比110.2%)		
6月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒



今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における大玉すいかは、4～9月を中心に出回り、主産地は熊本県、千葉県、鳥取県、山形県等です。令和7年度6月のシェア率は、千葉県39.2%、熊本県25.5%、鳥取県24.7%、山形県0.1%となっています。4～6月は熊本県、5～7月は千葉県、6～7月は鳥取県、7～8月は山形県と主産地が切り替わることで、全国で産地リレーが行われています。

今年度は、どの産地も生育及び玉の肥大が良好であり、6月は潤沢な入荷を見込んでいます。熊本県は5月下旬から入荷がピークとなり、鳥取県は6月下旬から7月上旬にかけて入荷ピークとなる予定です。千葉県産は富里、八街、山武を中心に5月下旬からハウス物の入荷がピークとなっています。6月以降は露地物が入荷予定となっています。ハウス物と露地物の端境期も少なく、安定した入荷が見込まれます。

すいかの最大のシーズンとなる夏に向けて、競合産地からも入荷量が多くなる中、千葉県では主要卸売会社、JAグループ、産地が一丸となり、首都圏の量販店において3産地合同でのすいかフェアを開催するなど販売促進活動を積極的にを行っています！ぜひ、この機会に千葉のすいかをご賞味ください！



首都圏量販店におけるすいかフェアの様子(令和8年6月6日実施)

